



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場会社名 エア・ウォーター株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 4088 URL http://www.awi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)青木 弘
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IR室長 (氏名)岸 貞行 TEL(06)6252-3966
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	147,425	19.0	7,710	6.3	8,416	5.9	4,821	31.4
25年3月期第1四半期	123,890	5.8	7,250	△1.0	7,950	△0.2	3,668	△26.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 5,785百万円(107.5%) 25年3月期第1四半期 2,788百万円(12.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	24	67	24	62
25年3月期第1四半期	18	80	18	77

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	502,025	37.5	203,126	37.5		
25年3月期	484,328	38.3	199,212	38.3		

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 188,398百万円 25年3月期 185,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	11 00	—	13 00	24 00	
26年3月期	—					
26年3月期(予想)		12 00		12 00	24 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	290,000	16.5	14,000	7.2	15,000	4.4	8,000	8.3	40	93
通期	600,000	11.1	34,000	21.9	36,000	2.4	19,000	3.5	97	20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規—社(社名) 、除外—社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	198,705,057株	25年3月期	198,705,057株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	3,223,274株	25年3月期	3,262,169株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	195,460,200株	25年3月期1Q	195,128,999株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当社グループを取り巻く経営環境は、円高是正、株価上昇、日銀の金融緩和政策強化などにより足元の景況感は改善していますが、实体经济への波及は一部にとどまり、総じてその効果を実感するまでには至りませんでした。

こうした状況の下、産業ガス関連事業はガス供給が本格的な回復に届かず、さらに電力問題によるコストアップ影響を受けるなど厳しい状況で推移いたしました。しかしながら、全天候型経営の推進により拡大する生活系ビジネスが景気変動の影響を最小限にとどめるとともに、新分野である農業・食品関連事業の飛躍的な成長により、前年同期を上回る業績を達成いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,474億2千5百万円（前年同期比119.0%）、営業利益は77億1千万円（同106.3%）、経常利益は84億1千6百万円（同105.9%）、四半期純利益は48億2千1百万円（同131.4%）となりました。

②当期の連結セグメント別業績

前第2四半期決算より、組織変更にもなうセグメント区分の組み替えを行いました。

従来区分のエレクトロニクス関連事業を産業ガス関連事業に統合いたしました。また、新分野農業関連事業の拡大にもない、従来その他の事業に属していた食品事業と合わせて「農業・食品関連事業」を新セグメントとして設けました。なおこれらにより、前年業績も新区分に組み替えて比較しております。

(単位：百万円)

	売上高		経常利益	
	当第1四半期	前年同期比	当第1四半期	前年同期比
産業ガス関連事業	44,530	103.9%	2,634	80.3%
ケミカル関連事業	22,317	98.9%	967	159.1%
医療関連事業	25,633	146.6%	1,028	89.7%
エネルギー関連事業	11,938	104.6%	747	111.4%
農業・食品関連事業	17,816	339.5%	1,073	487.8%
その他の事業	25,187	103.5%	1,694	105.1%
(調整額)	—	—	271	—
合計	147,425	119.0%	8,416	105.9%

(注) 経常利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

産業ガス関連事業は、高炉向けガス供給が内需の緩やかな回復と円高是正による輸出の増加を背景に、2010年度第1四半期以来の高水準の粗鋼生産を受け、好調に推移いたしました。しかしながら、高炉を除く国内製造業は回復感に乏しく、また上向きの建築需要も地域の生産現場までは届いておらず、総じてガス需要の回復には至りませんでした。電気料金の値上げに対応したガス価格の改定は、着実に進捗しています。

また情報電子材料分野では、電気・電子材料専門商社の阿部電材(株)を本年4月より新規連結いたしております。

ケミカル関連事業は、コールケミカルはコークス炉の操業が安定し、粗ベンゼンを中心とする基礎化学品の生産は順調に推移いたしました。ファインケミカルは、生産の効率化ならびに価格改定により収益の改善が進みました。タール蒸留事業は、無水フタル酸やナフタリンなど安定した市況が続きましたが、ニードルコークスは価格の下落により厳しい状況となりました。

医療関連事業は、医療用酸素が新規病院獲得により前年を上回る数量を確保いたしました。医療機器は、新生児・小児用人工呼吸器や高気圧酸素治療装置など堅調に推移いたしました。特に、周産期関連については製品ラインアップを充実し、同分野の一層の強化を図りました。医療サービスは、前期に実施したM&Aにより、SPD事業ならびに在宅酸素事業の強化を図るとともに、在宅輸液ポンプ事業に新規参入いたしました。病院設備工事は、病院の建替え・リニューアルが続くなか、手術室工事の受注に加え、手術室関連機器の販売も拡大し順調に推移いたしました。大型の配管工事が第2四半期にずれ込むなどの影響を受けております。

エネルギー関連事業は、LPガスが工業用顧客の燃転促進などにより、前年を上回る販売水準を確保いたしました。さらに春先の低温影響に加え、LPガス顧客への付帯販売の強化推進により、灯油販売数量が大幅に増加いたしました。また、当社独自の省エネ機器ハイブリッド給湯暖房システムは、2010年の発売以来、新設住宅向けに着実な拡販が進み、LPガスの数量拡大に貢献しております。

農業・食品関連事業は、ハムデリカ・冷凍食品事業においては、主力の生ハムならびに業務用ソースが外食チェーン向けに採用拡大するなど、販売が順調に推移いたしました。

昨年10月に連結業績に加わった飲料事業のゴールドパック(株)は、生産量が増加したことにより順調に推移いたしました。

その他の事業のうち海水事業は、塩の販売が外食チェーン向けに採用拡大したことで堅調に推移いたしました。物流事業は、食品物流ならびに特殊車両製造が順調に推移いたしました。

なお、当第1四半期より、当セグメントの業績に関東天然瓦斯開発(株)の持分法投資利益が加わっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べて176億9千6百万円増加し、5,020億2千5百万円となりました。負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べて137億8千2百万円増加し、2,988億9千8百万円となりました。純資産は、四半期純利益の積み上げなどにより前連結会計年度末に比べて39億1千4百万円増加し、2,031億2千6百万円となりました。

なお、1株当たり純資産は前連結会計年度の949.63円から963.77円に増加し、自己資本比率は前連結会計年度の38.3%から37.5%に変動いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,879	24,792
受取手形及び売掛金	125,851	129,901
商品及び製品	20,280	20,634
仕掛品	5,101	6,317
原材料及び貯蔵品	7,715	8,206
その他	24,279	24,835
貸倒引当金	△1,993	△2,040
流動資産合計	201,116	212,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,665	46,629
機械装置及び運搬具（純額）	66,029	66,418
土地	53,196	54,441
その他（純額）	33,795	34,497
有形固定資産合計	197,686	201,986
無形固定資産		
のれん	13,639	14,987
その他	4,282	4,636
無形固定資産合計	17,922	19,623
投資その他の資産		
投資有価証券	47,447	47,789
その他	21,196	21,016
貸倒引当金	△1,040	△1,036
投資その他の資産合計	67,603	67,768
固定資産合計	283,212	289,378
資産合計	484,328	502,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,745	89,991
短期借入金	53,663	67,372
1年内償還予定の社債	38	48
未払法人税等	4,389	1,246
その他の引当金	348	143
その他	35,923	33,352
流動負債合計	182,107	192,154
固定負債		
社債	10,057	10,057
長期借入金	57,296	60,491
退職給付引当金	7,786	8,307
その他の引当金	1,399	1,480
その他	26,469	26,407
固定負債合計	103,008	106,743
負債合計	285,116	298,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,263	32,263
資本剰余金	34,455	34,480
利益剰余金	129,973	132,225
自己株式	△3,280	△3,251
株主資本合計	193,411	195,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,165	1,453
繰延ヘッジ損益	△331	△280
土地再評価差額金	△8,792	△8,792
為替換算調整勘定	145	298
その他の包括利益累計額合計	△7,812	△7,320
新株予約権	290	307
少数株主持分	13,322	14,420
純資産合計	199,212	203,126
負債純資産合計	484,328	502,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	123,890	147,425
売上原価	96,503	118,045
売上総利益	27,387	29,379
販売費及び一般管理費	20,136	21,668
営業利益	7,250	7,710
営業外収益		
受取利息	61	59
受取配当金	249	303
持分法による投資利益	462	415
その他	614	626
営業外収益合計	1,387	1,404
営業外費用		
支払利息	383	371
設備賃貸費用	198	183
その他	105	144
営業外費用合計	687	698
経常利益	7,950	8,416
特別利益		
固定資産売却益	14	34
受取補償金	658	677
その他	4	72
特別利益合計	677	784
特別損失		
固定資産除売却損	311	172
投資有価証券評価損	1,074	3
その他	182	27
特別損失合計	1,568	203
税金等調整前四半期純利益	7,059	8,997
法人税等	2,848	3,673
少数株主損益調整前四半期純利益	4,210	5,324
少数株主利益	541	503
四半期純利益	3,668	4,821

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,210	5,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,323	152
繰延ヘッジ損益	△95	65
為替換算調整勘定	11	87
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	156
その他の包括利益合計	△1,421	461
四半期包括利益	2,788	5,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,285	5,228
少数株主に係る四半期包括利益	503	557

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	ケミカル 関連事業	医療関連 事業	エネルギ ー関連事 業	農業・食品 関連事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	42,853	22,560	17,485	11,413	5,248	24,329	123,890	—	123,890
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	649	7	102	427	2	4,230	5,419	(5,419)	—
計	43,502	22,567	17,588	11,840	5,250	28,559	129,309	(5,419)	123,890
セグメント利益	3,281	608	1,146	670	220	1,611	7,537	413	7,950

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	ケミカル 関連事業	医療関連 事業	エネルギ ー関連事 業	農業・食品 関連事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	44,530	22,317	25,633	11,938	17,816	25,187	147,425	—	147,425
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	730	10	56	388	3	3,962	5,152	(5,152)	—
計	45,261	22,328	25,690	12,326	17,820	29,150	152,577	(5,152)	147,425
セグメント利益	2,634	967	1,028	747	1,073	1,694	8,145	271	8,416

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

前第2四半期連結会計期間より、当社(親会社)の組織変更に伴い、業績管理区分の見直しを行い、従来の「エレクトロニクス関連事業」を「産業ガス関連事業」に統合しております。

また、従来「その他の事業」に含まれていた「農業・食品関連事業」について、当該事業の拡大に伴い、量的な重要性が増したことから報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(事業セグメントの利益の測定方法の変更)

前第2四半期連結会計期間より、研究部門の組織変更に伴い、各セグメントの業績をよりの確に把握することを目的に研究開発費の配賦方法を変更しております。

この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益につきましては、変更後の研究開発費の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。